

こども記者の活動発表

2/18こどもゆめ教室フェスティバルで4人のこども記者が「活動の中で一番印象に残ったこと」を発表しました。



活動展示もありました。



こども記者を体験して

2/4、3/10 この1年の取材活動のふりかえりをしました。

「こども記者をやってみて良かったこと」「もっと工夫したら良かったなと思ったこと」「今後やりたいこと」を聞きました。

人前で話すのが得意になった。これから字をていねいに書きたい。(佐々木)

話すこと、聞くことが上手になった。友達ができた。(藤井)

昨年できなかったこと「すぐに話しかけること」「重要な所を書き取ること」が今年はできた。(後藤)

いろいろな活動を知れたり、その活動の体験もできてよかった。(北村)

苦手な文章を書くことがだんだん得意になった。(西)

いろいろなことを知ることができた。(服部)

地域の人と関わり、いろいろなことを学べた。いなべ市の人に取り組んでいるボランティア活動について知りたい。(出口)

貴重な体験ができた。武将のことについて知りたくなった。(岡)

カメラを上手につかえた。メモをいっぱいかけるようになった。(市川)

プロの新聞記者の人から、書き方を教えてもらい勉強になった。能楽の取材では、聞いたこともない言葉や歴史を感じられました！(瀧本)

友達と一緒に記者になった気分でした。(佐藤)

長い文章を書けるようになった。
いなべ市外でも記者活動をしたい。(藤澤)



©さめ

発行：2024年4月1日
特定非営利活動法人
いなべこども活動支援センター
〒511-0202いなべ市員弁町楚原940
TEL 74-5775
FAX 74-4986
e-mail info@inabecs.jp
URL <https://www.inabecs.jp/>



こども記者くらぶ

2023年度報告

今年度は12人の応募があり、初回の顔合わせは6/18, 24に行いました。参加者全員が自己紹介をし、その後、数人のグループに分かれて、子ども達がサポーターにインタビューの練習をしました。そして最後に取材してみたいことを聞きました。



①夏休みの取材活動として、「子ども学びフェスタ」とこどもゆめ教室(夏のオープンスクールとレギュラースクール)の取材をしました。また、昨年からこども記者を続けている3人が「太平洋セメント」への取材も行いました。「子ども学びフェスタ」と「夏のオープンスクール手話で話そう」には、いなべ10の取材が入っており、ビデオカメラでの撮影体験も行いました。

②10/8午前・午後と「新聞記者に学ぶ」と題して、中日新聞の軍司記者から、新聞記者の仕事や、わかりやすい記事の書き方を学びました。また、子どもの記事へのコメントをいただきました。

③10月11月12月の取材活動は、いなこねマルシェ、トヨタ車体まつり、デンソー海外衣料回収、森のとびらin三重(トヤオ工務店)、木の精こだま物語、いなべ市郷土資料館の取材を行いました。

*中ページに取材の様子を掲載しています。また、QRコードから子どもたちの記事をご覧になれます。



こども記者くらぶの目的

子どもの視点で、地域の魅力発信。
子どものコミュニケーション力や観察力の向上。
自発性、自主性を養う。
企画力、読む・聞く・話す・書く力を培う。

2/19~3/11まで員弁コミュニティプラザロビーにて活動展示をしました。